

第4回 看護系大学・大学院生のための HIV/AIDS 看護セミナー

日時・場所 平成 28 年 6 月 11 日（土）11:00～16:00
首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室 A

参加者 比佐加奈子 東京医科歯科大学 4 年
西園英恵 東京医療保健大学 3 年
菊池麻吏 東京医療保健大学 3 年

ファシリテーター

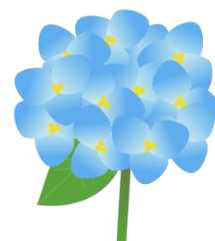
八鍬類子 スターズ訪問看護ステーション 訪問看護師・埼玉県 HIV 派遣カウンセラー
日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・もと HIV/AIDS コーディネーターナース
石井祥子 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター病棟 副看護師長
日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・感染症看護専門看護師

進行・解説 島田 恵 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 看護科学域 准教授

目 標 HIV/AIDS 外来看護の実際をイメージし、その特徴を理解することができる

プログラム

- 11:00 開会
1. オリエンテーション・アイスブレイク
 - 11:30 2. クイックレビュー HIV/AIDS の復習
 - 11:45 3. ケーススタディ① 外来看護師の面談場面からアセスメントとケアを抽出
 - 13:00 4. ランチョン 俳句鑑賞???
 - 13:45 5. ロールプレイ 「初診時の問診」に挑戦!
 - 15:00 6. ケーススタディ② さあ 2 度目のケーススタディは?
 - 15:45 7. リフレクション セミナーで得たものをシェアしよう!
- 16:00 閉会



1. HIV/AIDS 外来看護の場면을イメージすることができましたか？これまであなたが持っていた外来看護や HIV/AIDS 患者に対する看護のイメージと比べてどうでしたか？

外来看護というと、医師の補助というイメージが強かったが、CN という看護師としての強みを生かした仕事もあるのだと知った。また、HIV/AIDS の看護と言われてもイメージしづらかったが、生活のことや服薬のことを指導するのは糖尿病外来などとも近いのかなと感じた。HIV/AIDS の看護は特殊なものかと思っていたが、もちろん特性もあるが、他の分野の看護とも共通する部分もあるのだなと感じた。

今までイメージのなかった外来を、ロールプレイやケーススタディを通してより理解することができました。一つの言葉をとっても認識や意図していることは違うのだなと思いました。

特に、前回から今回、今回から次回をつなげるために、外来の看護は重要だと感じました。

患者が抱えているリスクを見逃さないように、指示的にアドバイスしたり、一緒にチェックしたり、長い目で見る必要があると思いました。

外来でコーディネーターがどのように患者さんと向き合っているか学ぶ機会がなかったので、Phase1 から 2・・・と 1 回の外来の時ではなく、継続してどう向き合うのか、ということをとっても多く学びました。

初めは HIV/AIDS をもつ患者さんと向き合う時、どういうメンタルケアをするのが大事なのかと思っていましたが、実際は、患者さんが治療開始への意志をどう持つか、生活環境をどう整えるのかなど、Ns の関わりの多様さがわかりました。

問診のロールプレイングを行ったことで、私自身の緊張や自信のなさ、経験のなさからしどろもどろになってしまったところはありませんでしたが、やってみてやられてみて、皆とコミュニケーション能力や信頼関係の作り方について多くを学びました。

2. このセミナーであなたはどのようなことを得ましたか？また、もっと得たかったことは何ですか？

HIV/AIDS の看護というもののイメージができた。また、HIV/AIDS の看護といっても外来と病棟でもまた違うことを知ることができた。

そして普段あまりケーススタディやロールプレイをしないので、実体験として学習することができた。HIV/AIDS の看護ということを超えた看護の技術を学ぶことができた。

患者のアドヒアランスを高めることも、患者教育の一つだと学びました。

患者には、その治療が生活の中にあって、その治療によってより自分らしく生きることにつながるように心がけるものだと思います。

外来と病棟とでアドヒアランスの高め方、よりよい方法は異なると思うので、そのことについてもっと知りたいと思いました。

学生 3 人という少人数と、ファシリテーターの方 2 人、先生と少人数でできたことで、より深く密に行うことができました。これくらいの少人数でやれてよかったです。

多くのことを得ましたが、外来で受診する時は、次に来てくれるかわからない、ということもあるので、この受診でこの人の為さなくてはならない目標は何か、今回これを最低限やらなくてはならないことか、考えて行っているとわかりました。

もっと知りたかったこととしては、患者さんがまわりの人にどのように伝えているのか、それをどう看護師が支えられるのか学びたかったです。

3. このセミナーに対する意見（良い点、改善すべき点など）があれば書いてください！

ケーススタディやロールプレイは、今後行う際には入れてほしいです。ただ、ロールプレイの見本を見てみたかったです。

少人数で意見が言いやすく、とても楽しく学びました。

以上

